

安全データシート

整理番号 【539】

制定日 2013/07/03

改訂日 2014/11/25

1. 製品および会社情報

製品

製品名 クールリフレ やさしいクールシート

供給者情報

会社 サラヤ株式会社

住所 大阪府大阪市東住吉区湯里 2-2-8

担当部門 営業本部

電話番号 06-6797-2525

緊急時連絡番号 06-6705-1013

2. 危険有害性の要約

GHS分類：分類できない

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分：全成分表示（括弧内はラベル表記内容）

化学名または一般名：水（水）、プロピレングリコール（PG）、塩化セチルピリジニウム（セチルピリジニウムクロリド）、モモ葉エキス（モモ葉エキス）、乳酸（乳酸）、カキタンニン（カキタンニン）、グリシン（グリシン）、グリセリン（グリセリン）、クエン酸ナトリウム（クエン酸Na）、硫酸亜鉛（硫酸亜鉛）、安息香酸ナトリウム（安息香酸Na）、パラオキシ安息香酸エステル（メチルパラベン）、フェノキシエタノール（フェノキシエタノール）、トリイソステアリン酸ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油（PEG-40水添ヒマシ油）、香料（香料）、不織布

4. 応急処置

吸入した場合：気分がわるくなった場合は風通しの良い場所へ移動し、新鮮な空気を吸わせる。

皮膚についた場合：赤味、はれ、かゆみ、刺激等の痛み等の症状が出た場合は、必要に

応じ医師の診断を受ける。

眼に入った場合：豊富な清浄水で十分に眼を洗浄し、症状によって医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合：不織布による窒息に気を付け、吐き出させる。水でよく口の中を洗浄し、必要に応じ医師の診断をうける。

5. 火災時の措置

消火剤：泡、粉末、炭酸ガスなど。

通常は燃焼しないが、万一、周辺の状況により燃焼した場合は、上記消火剤による。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：作業には保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用し、

環境に対する注意事項：河川等に排出され、環境への影響をおこさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法：吸着剤（おがくず、土、砂、ウエス、紙等）で吸着させ取り除く。

二次災害の防止策：吸着剤（おがくず、土、砂、ウエス、紙等）で吸着させ取り除く。

少量の場合は、布切れ等で拭き取り、大量の場合は、蓋付空容器へ回収する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

中身の乾燥を防ぐため、使用後はキャップをしっかり閉めること。

水に溶けないため、トイレには流さないこと。

シートや容器に使われている袋は、窒息等の危険があるため口に入れない。

湿疹、皮膚炎（かぶれ・ただれ）等の皮膚障害があるときには、悪化させる恐れがあるので使用しないこと。

かぶれたり、刺激を感じた時には使用をやめる。使用を中止しても改善されない場合は医師の診察を受ける。

保管

適切な保管条件：

直射日光の当たる場所、高温の場所には保管しないこと。

小児の手の届かないところに保管する。

8. 暴露防止措置および保護措置

設備対策：情報なし

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：設定されていない。

保護具：不要

9. 物理的および化学的性質

外観：白色の不織布
臭い：ライムの香り
pH：4.5～6.5（薬液）
溶解性：水に溶けない

10. 安定性および反応性

安定性：常温においては安定である。
避けるべき条件：直射日光の当たる場所、40℃以上の高温になる場所。
危険有害な分解生成物：情報なし。

11. 有害情報

急性毒性：情報なし。
皮膚腐食性/刺激性：情報なし。
眼に対する重篤な損傷/刺激性：情報なし。
呼吸器感作性/皮膚感作性：情報なし。
変異原性：情報なし。
発がん性：情報なし。
生殖毒性：情報なし。
特定標的臓器/全身毒性－単回暴露：情報なし。
特定標的臓器/全身毒性－反復暴露：情報なし。
吸引性呼吸器有害性：情報なし。
催奇形性：情報なし。
代謝：情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性：情報なし。
残留性・分解性：情報なし。
生体蓄積性：情報なし。
土壌中の移動性：情報なし。

13. 廃棄上の注意

「7. 取り扱いおよび保管上の注意」の項を参照のこと

残余廃棄物：管轄自治体のルールに従い、処理する。あるいは、廃棄物業者に処理を依頼する。

使用済容器：管轄自治体のルールに従い、処理する。

14. 輸送上の注意

「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと

国際規制

国連分類：情報なし。

国連番号：情報なし。

運搬する場合には、飛散、漏洩、流出、又は浸出を防ぐのに必要な措置を講じなければならない。

15. 適応法令

労働安全衛生法（安衛法）：通知対象物質に該当しない。

化学物質管理促進法（P R T R法）：該当しない。

医薬品医療機器等法：化粧品に該当。

16. その他の情報

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
- ・注意事項は通常の手続きを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
- ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。